

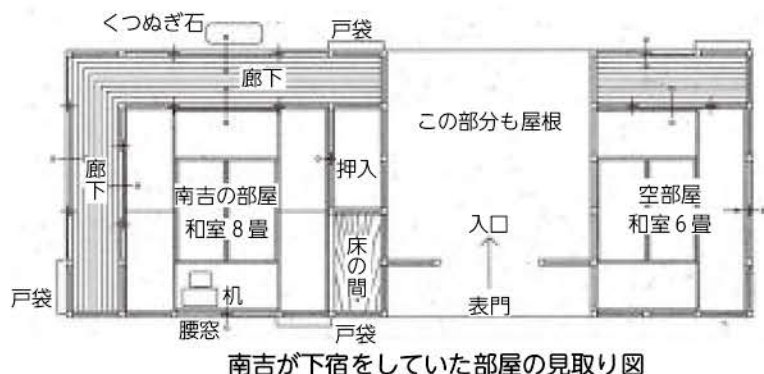
今年は、新美南吉が安城に下宿して80年の年です

安城高等女学校(現在の桜町)で教師をしていた新美南吉は、昭和14年4月から、現在の新田町にある大見家で下宿を始めました。南吉は、昭和17年12月頃までこの大見家で過ごし、歩いて学校へ通いました。この約3年半の間に、初の単行本『良寛物語 手毬と鉢の子』、初の童話集『おぢいさんのランプ』等が出版され、南吉は幼い頃から持ち続けた「童話作家になりたい」という夢を叶えました。

南吉が安城に下宿して80年の今年、今一度南吉作品を読み返したり、南吉の下宿先に足を運んだりしてみたいはいかがでしょうか？



南吉が下宿していた部屋



下宿先徹底解説!!

大見家の母屋の南に建っている「南吉の下宿先」は、母屋の門の左右に一つずつ和室がある「門長屋」と呼ばれる平屋建ての建物です。南吉が住んでいた部屋は、左の8畳の和室で、西側と北側に廊下があり、窓側は通りに面しています。教え子が訪れた際に、畳の上にキャンディボックスや脱いだ履物が丸めて置いてあったのを見て、人間臭

く親しみを覚えたという話もあります。

現在の「南吉の下宿先」は、平成25年の新美南吉生誕百年を機に、当時の姿に復元されたものです。南吉がいなくなつた後、洋風に改装されていましたが、家の所有者や当時下宿先を訪れたことのある南吉の教え子の証言をもとに再現されました。

下宿先に行ってみよう!!

●所在地 新田町出郷37

●行き方 あんくるバス東部線「新田」又は「東新町」バス停から徒歩8分。自家用車の場合は、新田ふれあい広場駐車場を利用してください

※下記QRコードで地図を参照できます。

●その他 見学科・事前予約不要。住宅街にある個人所有物件のため、見学はなるべく午前10時〜午後3時をお願いします

私達が当時の南吉の逸話等をお話します!



家主の大見さん夫妻

※不在の日もあります。

半田×安城 新美南吉ゆかりの地 交流特集

半田市の新美南吉記念館で安城下宿80年特別展「日本」^{マーク}と南吉の暮らし」が開催されます。

●期間 7月13日(土)~10月27日(日)午前9時30分~午後5時30分(月)・第2(火)休館。(月)・第2(火)が祝日又は振替休日の場合は開館し、その翌日が休館)

●場所 新美南吉記念館(半田市)

●内容 「日本デンマーク」と呼ばれた安城の地域性や戦時下という時代背景が、南吉の生活にどう関わり、作品にどう影響を与えたかを探ります

●観覧料 210円(10月1日以降は220円)

●問合せ 新美南吉記念館(☎0569<26>4888)

南吉に触れよう!

図書情報館2階には、南吉に関する資料や作品を展示した「なんきちゃんのへや」があります。

また、音声とアニメで南吉について親子でわかりやすく学べ、楽しく読める、アプリ「カラクリBOOKS」もあります。ぜひご利用ください。

※詳しくは右記QRコードで確認してください。

